

# 令和 6 年度

## 第 1 回 北陸地方整備局事業評価監視委員会 議事録

1. 日 時：令和6年8月27日（火）14:00～

2. 場 所：北陸地方整備局 4 階 共用会議室（Web併用）

3. 出席者：委 員）佐伯委員長、高橋委員長代理、市川委員、片桐委員、小山委員、林委員、古谷委員、宮下委員、龍委員  
整備局）局長、副局長、総務部長、企画部長、建政部長、河川部長、道路部長、港湾空港部長、営繕部長、用地部長、統括防災官、環境調整官、河川調査官、道路調査官、河川計画課長、道路計画課長  
事務所）信濃川河川事務所長、長岡国道事務所長、千曲川河川事務所長

### 4. 審議等案件

#### 1) 道路事業の再評価

◆一般国道 8 号栄拡幅（長岡国道事務所） [一括審議]

### 5. 審議

#### 1) 道路事業の再評価 <一括審議>

◆一般国道 8 号栄拡幅（長岡国道事務所）

（委員）

- ・当該事業は、周辺の工業団地が誘致中であるなど、沿線に多くの企業が立地している道路であると感じています。道路拡幅により物流面が整備されることで、沿線に立地する企業の重要な商品や技術も輸送されることになり、当該事業の継続は非常に重要であります。
- ・企業や工業団地が多く立地していることで、当該事業の整備により大型車両の増加が想定されます。道路拡幅により交通量が増加することで、沿線の既存店舗や商業施設にも影響が生じることも想定されます。例えば、バイパス整備によって交通転換が発生することで、現道区間沿線の商業施設が沈滞する等の課題もあります。
- ・命の道への支援として、道路拡幅により救急救命・消防関係の車両に対する走行の円滑化が図られ、搬送時間が短縮されることに対して非常に期待しています。病院への搬送のみならず、現場への到着時間も重要であり、救急車の現場到着所要時間は全国平均で約 9 分であるが、心肺停止の場合、1 分の遅延で救命率が約 10%低下し、胸骨圧迫・AED の使用等何もしなければ生存が難しいとされています。当該事業の周辺に立地している県央基幹病院に勤務している方からは、新潟方面よりも長岡方面からの搬送ケースが多いという話もあることから、当該事業は救急救命においても非常に重要な事業であります。また、県央基幹病院に勤務する職員の方が高速道路で通勤する場合、朝方は三条燕 IC 周辺が混雑しているため、栄スマート IC を利用しているという話もあります。
- ・以上のことから、当該事業は非常に重要な事業であると認識しています。

(北陸地方整備局)

- ・当該事業は、企業立地を促進する重要な道路であり、沿線には新たな工場団地が分譲中であるため、当該事業の推進により物流の促進に寄与していきたいと考えています。
- ・大型車の影響について、当該事業は現道拡幅であり、現況交通の転換は生じないものと想定されるが、いただいたご意見をふまえて事業を推進していきます。
- ・医療面への期待について、搬送時間の短縮が図られるよう、円滑な道路整備を推進していきます。

(委員)

- ・当該事業は以前より工事着手しており、様々な事情があることは理解しているが、未だ完成に至っていないものと感じていました。
- ・当該事業の前後区間が既に4車線化しており、当該事業区間のみが2車線であるため、ボトルネックとなっています。栄スマート IC 周辺の工業団地には多くの企業が立地しているほか、周辺に住宅地も整備されたため、朝夕は著しい交通渋滞が発生するという話があります。当該事業区間の4車線化に対して、地元ユーザーのニーズが非常に高いことがよく分かります。
- ・新潟県からの意見にあるコスト縮減等について、当該事業での工夫があればうかがいたいです。当該事業は、道路の切り回しが多く仮舗装と撤去を繰り返し行っているようにも見受けられ、一般の方から無駄な工事ではないかという印象を持たれることが懸念されます。地下埋設物などの影響で大変な工事ではあるが、コスト縮減に対する工夫について周知を図ると良いと思います。

(北陸地方整備局)

- ・コスト縮減については、近隣の河川事業における建設発生土を、当該事業の盛土造成への転用などを想定して事業を推進しています。
- ・拡幅事業は、現道の道路線形を左右に切回しながら行う工事であり、整備効果の発現にも時間を要すると想定されるため、広報も行いながら周知できるように工夫していきたいと思います。

(委員)

- ・ボトルネックの拡幅によって、混雑緩和、冬季の交通確保、災害時の支援物資等の整備効果が期待できるため、是非とも事業を推進していただきたいです。
- ・建設発生土について、どのように有効利用する計画なのか教えていただきたいです。

(北陸地方整備局 道路部)

- ・河川事業で発生する建設発生土を盛土造成等に活用することを想定しています。
- ・その他、新技術も最大限活用しながら事業を推進していきたいと考えています。

(委員)

- ・近隣で進めている国道 289 号八十里越の開通によって県央基幹病院と接続することで、医療面に対する整備効果が期待できるものと想定しています。
- ・当該事業も国道 289 号八十里越と連携することで、県央基幹病院へのアクセス向上に寄与し、市町村合併でエリアが広域となった三条市においても、医療面に対する整備効果が期待できるのではないかと思います。

(北陸地方整備局)

- ・国道 289 号八十里越は当該事業より北側に位置しており、三条燕 IC 方面から県央基幹病院に至るルートが最短となります。
- ・一方で、見附市を経由して県央基幹病院に至るルートもあり、この場合は当該事業の整備効果が期待できるものと想定されます。

(委員)

- ・当該事業の維持管理費が 82 億円とされているが、この費用を算定している期間と、維持管理費は B/C 算定に含まれているか教えていただきたいです。
- ・また、他の事業等と比較した場合、維持管理費として平均的な費用なのか教えていただきたいです。

(北陸地方整備局)

- ・維持管理費は過去 3 年における国道 8 号の維持修繕に要した実績を基に、50 年間分の費用を計上して 82 億円としています。また、維持管理費は、B/C 算定におけるコストとして含まれています。
- ・維持管理費は維持修繕に要した実績から平均化した費用を採用しているため、他事業と比較して当該事業が特段多くの維持管理費を要している訳ではないと考えています。

(委員長)

- ・当該事業に限ったことではないが、今後の地盤調査等で地盤対策の必要性が判明し、後々から事業費増加を行うことは、事業に対する印象が良くないと思います。
- ・事業費増加がやむを得ない事は理解できるが、他の事業評価でも事前調査等の重要性に対する意見も挙げられているため、関連する技術開発等も含めて、事業費算定の精度向上やコスト縮減に努めていく必要があると思います。

(長岡国道事務所)

- ・今後、詳細な調査や地元の方との協議を行いながら設計を進めていく予定であり、その過程で判明した事象を正確に分析し、コスト縮減を図る工法について新技術等を活用しながら選定していきたいと考えています。

## 6. 総括

(委員長)

- ・それでは本日の審議結果を確認させていただきます。
- ・本委員会としては再評価の一括審議案件 1 件について、原案のとおり事業継続が妥当ということで、異議はないでしょうか。(出席委員了承)
- ・異議はないということなので、事務局と調整の上、本日の委員会の議事概要を後日まとめさせていただきます。
- ・なお議事録については本日ご出席の委員の皆様方に対して後日事務局から確認をさせていただきます。ご確認をいただいた後に公表ということになるがよろしいでしょうか。(出席委員了承)
- ・最後に、本日の委員会資料の公開・非公開について確認します。HP 等に資料を公開については

運営要領第3条第3項において委員会の会議に提出された資料・議事録等は公開する。ただし、公開することが適切でないと委員会が判断する資料は公開しないとあるが、本日の会議に提出された資料については公開するという事でよろしいでしょうか。（出席委員了承）

- それでは公開したいと思います。
- 以上で本日の審議を終了します。以降の進行は事務局にお返しします。

## 7. 閉会

（事務局）

- 以上をもって、令和6年度第1回北陸地方整備局事業再評価監視委員会を終了します。

－ 以 上 －